

## 留学を終えて

恵那高等学校 加藤 真穂（アメリカ）

私は、2022年の8月から2023年の5月までアメリカ合衆国のテキサス州に留学していました。この留学を支えてくれた家族、学校そして岐阜県教育委員会の方々に心から感謝しています。

私は、テキサス州にあるハンツビルハイスクールに通っていました。ハンツビルハイスクールは1760人の生徒がいる大きな学校でした。

私が印象に残っている授業はCosmetologyという美容学の授業です。私は、留学先の学校で日本にはない授業を取りたいと考えていたので、この授業を取ることにしました。この授業では、ネイルの練習をしたり、一人一つあるマネキンを使ってパーマやヘアカットの練習をしたりします。教室には実際の美容院にあるような椅子や頭を洗う用の洗面所がありました。美容学を学ぶにはとても良い環境だと思いました。美容学の授業以外にも料理、建設、法律、教育や保育、ロボット、フラワーアレンジメントなどを学ぶことができる授業がありました。アメリカの学校は自分が取りたいクラスを選んで取ることができ、高校生のうちから専門的なことを学ぶことができます。これは日本の学校にはない良い点だと思いました。

また、私の学校には私を含めた13人の留学生がいました。そして留学生とアメリカ人の生徒が交流できる留学生クラブがあり私はそこに所属していました。多くのアメリカでのイベントを留学生と一緒に過ごしました。その中でも一番記憶に残っているイベントは「ホームカミング」です。ホームカミングパレードでは、留学生のみんなの国旗を付けたトラックに乗って街を回りました。留学が始まって初めてのイベントだったので、このイベントを通してほかの留学生との仲をさらに深めることができました。

私は、留学中に3回ボランティアに参加しました。ボランティアに参加することで地域の人達と、日本について、または日本とアメリカの違いについて話すことができました。ホストファミリーや友達と文化交流をしていく中で、私の周りの人達が日本について興味を持ってくれたり、日本について聞いてきてくれたりすることがとても嬉しかったです。

一年の終わりには留学生みんなで集まり卒業写真を撮りました。私たち留学生の学年はジュニアで、日本でいう高校2年生でしたが、コーディネーターが卒業写真を撮る機会を作ってくれました。

留学生活の中で辛いことも楽しいこともありましたが、充実した留学生活だったと思います。留学先での出会いや思い出、学びを大切に、これからの生活に活かしていきたいです。

